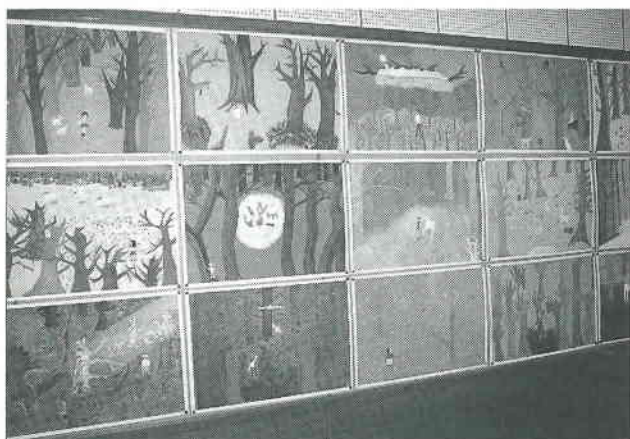


第45回全道造形教育研究大会

45  
CHI 70 SE

# いしかり'95 千歳大会特集



## 北海道 造形教育 連盟報

No.101 1995.12.22 発行

発行 北海道造形教育連盟

事務局 〒064 札幌市中央区南14条西10丁目

札幌市立山鼻小学校 白井 罔 毅

☎011-511-6616

## 第45回千歳大会を終えて 造形教育の広がり求め



### はじめに

真夏の太陽が強く照りつける7月28日、29日の両日「いしかり'95千歳大会」に、全道各地から参加して下さいました先生方に、まずもって、心よりお礼を申し上げます。皆様のご協力、ご支援のおかげで、今大会の参加者は、600名を数え、盛会の裡に終了することができました。大会を支えていただきました道教育委員会ははじめ関係諸機関の方々、造形連盟本部の皆さま、各支部の皆さま方に深く感謝いたします。ありがとうございました。

さて、今大会は、「豊かな心と確かな力をはぐくむ造形学習を」のテーマのもとに、造形教育のめざす授業とはどんなものか、また、造形教育を通して、どんな子どもを育てようとするかについての研究の積み上げを公開したものでした。

今大会で掲げたテーマによる授業は、子ども達の意欲を引き出し、造形活動の喜びにひたれるものであるように取り組みましたが、分科会討議の中でいただいた御意見を参考にしながら、明日からの実践を積み上げていきたいと考えております。

以下、今大会で私達が問いかけた研究の内容と、大会の中で得たものを収録してみました。

### 豊かな心と 確かな力を育む授業の実践

本大会で考えた「豊かな心」には、人間が生きていく中で美しさを感じとり、その美しさにこだわり求めている

く心がある。それらは、感受性・創造性・好奇心・探求心・向上心等、人間の「美意識」に関わるすべての心性を指すものである。

また、「確かな力」としては、造形活動によって育まれる観察力、発想・構想力、見通しを立てる力、比較する力、伝達する力などを指しており、生涯通して生きてはたらく力である。

さらに、造形教育独自の教育要素として身につけさせたい力としては、造形活動のための技法や、造形学習に生かすための造形要素についての知識や、それを活用する能力である。

私たちは、子どもに内在する力を引き出し、子どもの思いを表現させるために、授業の中では、次の三つの視点をもつことにした。

#### ①基礎・基本の重視

- ・造形要素を知って、それを活用させる。
- ・表現活動のための感覚を育てる。
- ・子どもの感じ方や考え方を育む。

#### ②題材の開発と見通し

- ・子どもの学習への興味・関心に基づく題材の再発見、再開発
- ・基礎・基本が身につく題材の開発

#### ③表現意欲を引き出す手立て

- ・子どもの主体的活動を引き出す支援
- ・選択・意思決定を子どもにさせる場面の設定
- ・子どものやる気を引き出す評価





# 子どもの豊かな心と確かな力を育てる

千歳大会運営委員会

〈参加者の声〉……分科会討議・アンケートから

- はだしの作業に抵抗なく取り組んでおり、生き生きしていた。(幼)
- 日頃から、材料になるものを集める場所を決めて、集めていた。遊びからいろいろな発想が生まれてくる。(授業者) (小低)
- のりは、指の感覚で知るのが正当。幼稚園では、ボンドに手を突っこんで、べったり使わせている。小学校でも指の感覚を大切にしていは。(小低)
- 石こう等、多くの素材体験をさせることが望ましい。「小学校でも結構やるんだなあ」(小中)
- 4才児の授業とは思えないほど集中。(幼)
- 子どもたちの絵がとても素晴らしい。(小高)
- 新しい素材に取り組む場合、材料の特性や、子どもの感動を大切に。(小中)
- 基礎・基本さえしっかり持っていれば、個性は、自ずと作品にでる。自分自身の表現ができると、それが個性といえるのでは。(中)
- 子どもたちの興味をそそる導入がよい。(小低)
- 切ったり、貼ったり、材料や道具を楽しんでいる様子がよい。(小低)
- 息のあった教師と園児のやりとりが印象的。生活習慣もきちんとしていて、細かな点まで素晴らしい内容でした。(幼)
- 指導者は意欲的で、拍手をおくります。題材のシリーズはおもしろいです。(小低)
- 生徒が制作に集中し、表現することの楽しさを味わうよい授業だった。(中)
- 基礎・基本、ABCの押さえが分かりやすい。混乱していたものが整理された。(中)



## 夢と喜びの広がる造形学習を

—— 千歳大会の試み ——

### 〈記念講演〉

東京から砂場三郎先生をお迎えし、「夢と喜びの広がる造形学習」をテーマに講演いただき、素晴らしい実践の数々を紹介していただきました。子どもが本当に楽しいと思い、喜んで学習に取り組むようにするには、教師の周到な準備や手立てが大切なのだと、改めて考えさせられました。

### 〈実践パネル展示〉

造形学習が生きるのも、日頃の実践の積み上げです。石狩では、日頃、どのような実践をしているのか、教室での試みをパネルに制作しました。

### 〈チャレンジ工房〉

造形学習には“遊び心”が大切。教師も、ほっと息ぬきをし、子どもと遊んでみませんか。子どもの心・子どもの世界が見えてくるのではないのでしょうか。最新のコンピューターによる通信から、楽しい紙の風鈴作りまで、5講座を開設し、ふれあいのひと時を過ごしました。



### おわりに

本大会は、子ども達の人間形成に関わる造形教育の大切さを改めて認識し、子どもの豊かな感性と、確かな力を身につけさせるための実践のあり方を全道の先生方に提言する一つの試みでした。皆さまの御意見御批判を今後の実践に生かし、石狩の大地に生きる子等を心豊かに育てていきたいと思ひます。御協力、御支援、誠にありがとうございました。(文責・関 建治)

# 石狩大会に

## 石狩の熱意に拍手

札幌市立東園小学校 藤井 正治

千歳大会は、石狩の図工・美術が内包するパワーを十分に発揮した大会でした。

20年前に石狩の仲間として江別大会に関わった私にとって、授業に取り組む先生の表情や運営に携わる先生方の動きは、特別な感慨をもって感じられました。

「新しい学力観」という言葉がそろそろおもはゆくなる今ですが、子供を中心に据えた、一人一人のよさを生かす学習はさらに追求されなければなりません。

その点で、千歳大会で提起された視点や提案された授業構成は、まさに子供一人一人に目を向け表現の楽しさの中で「豊かな心と確かな力」を目指したものでした。

向陽台小での自然環境を生かした取り組みも新しい試みとして評価されるでしょう。

2日目に提示された、コンピューター等の試みも準備から大変な苦労だったろうと思いますが、石狩の熱意が感じられ、どのコーナーも盛況だったことに大きな拍手を贈りたいとおもいます。ありがとうございました。

## 千歳大会に参加して

西興部村立西興部小学校 松村 忠

初めて、「全道造形教育研究大会」に参加しました。実は、造形教育を特に研究していて参加したのではありません。動機は、普段なかなか遠く離れた地域の学校を見学できないので、夏休みを利用して別の地域に触れてみたかったからです。参加者は600名と盛大なのに、網走管内からは9名と参加者が少なく、関心が低いのかなと思いました。

基礎・基本の指導もわかっていなかった私ですが、今大会に参加して、パレットの使い方、白の絵の具の使い方、下描き・直描き、鑑賞の評価のしかた等々先生方の実践を学ぶことができました。また、マルチメディア工房では、これからの教育の一端をのぞかせてもらい、コンピューターにもっと関心をもたねばと思いました。

教室はじっとしていても汗がにじみでてくる暑さの中、授業者と子供達、それに、参観者の熱気があふれていました。

「井の中の蛙」になりがちな私にとって、今大会に参加できたことは、貴重な体験でした。





# 参 加 し て



## 心も結ぶネットワーク

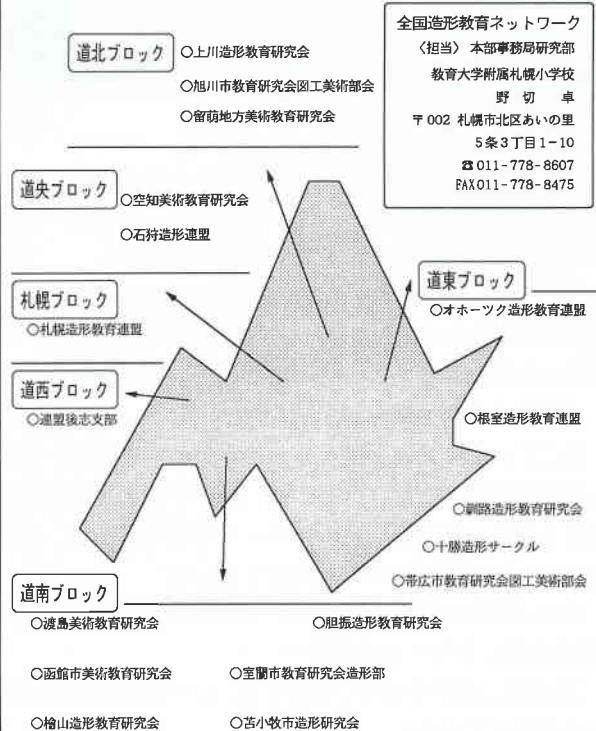
ネットワーク事務局  
附属札幌小学校 野切 卓

造形連盟のネットワーク部門が、全道18支部の研究交流を目的に発足して、今年で3年目となります。各支部の優れた実践を、その地区の中だけにとどまらず、連盟全体の宝として網状に結びつける役割が期待されています。

今年度の石狩大会では、会場校の体育館に各支部の作品を提示し、ネットワークとして具体的な研究交流の第一歩を踏み出しました。大会2日目のネットワーク分科会では、各支部の近況報告などから、それぞれの支部が抱える問題点や特色ある活動について、情報を交換することができました。その中で、石狩造形連盟の森を使った授業提案は、地域の素材を生かした造形教育として、今後のネットワークの活動に貴重な示唆を与えるものでした。また、昨年来、札幌造形教育連盟と石狩造形連盟がそれぞれの授業研究会に参加し合う交流も見られています。

来年の札幌大会は、研究と共に全道の先生たちの心も結びつけるネットワークづくりに向けて、大きな節目としたいものです。

### 全道18支部のネットワークを





## わたしの学校 わたしの実践

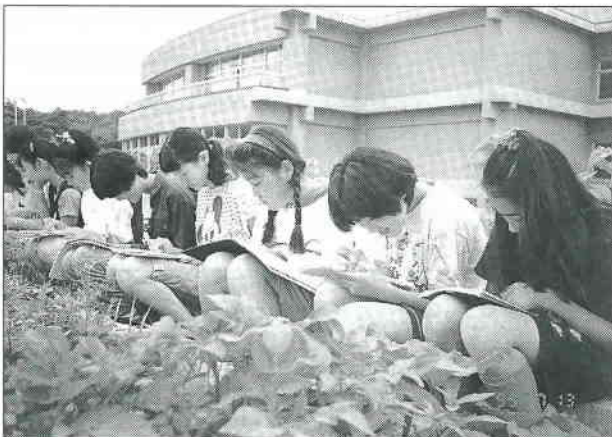
千歳市立北陽小学校 平 山 一 弥

### 【学校の紹介】

北陽小学校は、開校2年目に入りました。扇型のユニークなデザインの校舎は、全国各地から視察に来るほどで、各所に様々な工夫が凝らされています。

ホールが校舎の中央に位置し、ゆとりの空間として、集会や作品展などに利用され、そこにあるからくり時計は、子供たちの気持ちをなごませてくれます。教室の廊下部分に、多目的スペースがあり、そこを利用して朝の体力づくりにも取り組んでいます。

周辺には、観察の森や道路を挟んで防風林も続き、植物観察や、樹木のスケッチなどの学習に利用されています。現在校舎内外の環境整備も着々と進行中で、よりよい学校を目指して職員が一丸となって頑張っています。



### 【自然環境と子供たちのかかわり】

この夏、全道の造形大会が千歳市を会場として開催されました。短い北海道の夏の中では、この2日間が一番暑かったのではと、懐かしく思い出しています。

「子供たちは、どんな絵なら意欲的に取り組めるだろうか。」

最初の出発点はここでした。学校周辺を見渡した時、目に入ったのが観察の森と防風林でした。この自然をうまく活用できないものか。

そこで、この森と子供たちとのかかわりを持たせることに取り組みました。日常的に、森の中に入って自然探索をしたり、植物や樹木のスケッチを続けました。植物を採集して、押花作りにも挑戦しました。

また、国語の学習と関連づけて、「森の詩」を書いたり、「森のお話」も作ってみました。

「ある日、森の中に入ってみると、いつもとは違う光景が目に入ってきた。」



### 【作品の完成と鑑賞の学習】

自分たちの作ったお話をもとに、今度はそれを絵に表すことに取りかかりました。どこにもない、自分だけの話を絵に表すことに、子供たちは意欲的に取り組みました。それぞれ、自分の描いたイメージにそって、31枚の絵が描かれ始めました。

ただ、お話の雰囲気を出すために、自分(人物)と樹木は必ず入れようという条件を提示しました。全体の雰囲気を効果的に表すための色の学習や、よりよい画面の構成についても、助言しました。予定の計画よりも随分時間がオーバーしましたが、作品がようやく完成した時の子供たちは、これまでになく、満足気であり、自信を持ったようです。

鑑賞場面の学習では、作品をスライドで映しました。作品を大きく拡大でき、色が鮮やかな点がスライドの利点です。また、子供にお話を読んでもらい、不思議な雰囲気が出るように、BGMも取り入れてみました。

一人一人の作品について、その作品の良さや工夫しているところを見つけ発表し合いました。あまり活発な意見交流がなかったことが残念でしたが、この学習を通して、お互いの良さを見つけ、認め合うことができたのではないかと考えています。

スライドは、1枚映すだけではなく、2枚映して比べたりすることも、有効な手立てだったと反省しています。

また、教師自身も、一人一人の良さを積極的に見つけ誉めてあげる姿勢も必要でした。

造形大会を終え、あの防風林の中から、学校を写生しています。学校だけではなく、樹木と人物を入れ、子供たちの暮らしを表現させたいものです。完成したら、今度は2台のスライド映写機で鑑賞会をやってみます。



# 札幌造形教育連 宿泊研修 おもしろ造形「冬工房」

札幌造形教育連盟委員長 伊藤 善 彬  
(札幌市立白石小学校長)

札幌造形教育連盟(札幌造連)は造形教育にたずさわるものとしての資質を高め合い、磨き合うことを目的として結成された。

その研修の場のひとつとして設けたのが造形冬工房である。とくに時間をたっぷりとした研修を深めたいとの願いから宿泊研修の形をとることにした。

十分な研修の場をもった宿泊施設をと、探し当てたのがNTT 研修センターであった。

一泊二日で実践発表あり講習会あり実技研修と、もりだくさんのメニューを考えた。

## 1 日目

### ①アフタヌーン講座

- ・実践発表会
- ・グループづくりとゲーム
- ・グループ製作(身近素材を使って)

テーマ 童話の世界

にわかづくりのグループにもかかわらず、仲良く仕事を分担しあって、大胆な発想の愉快な作品が出来上がった。

### ②ディナーショー

- ・グループ製作「童話の世界」の発表会  
講評

身近素材を生かした作品を提示しながら自分達のテーマをもとにした発表は個を生かしたアドリブのきいた、おもしろく楽しい会になった。



'96 冬工房 申込先 山鼻南小 益村 豊

### ③ミッドナイト講座

- ・持ち寄り作品の合評会

一つの部屋に集まって自己紹介した後、いろいろな楽しい話が続き時間を大幅に越えてしまった。

## 2 日目

### ①モーニング講座

- ・実技研修

紙工作 伊藤 恵 先生

動くおもちゃ 森川昭夫 先生

エアープラシ 板木 武 先生

彫塑 小柳雄嗣 先生

自分の学びたい実技講座を一人二つずつ選び、3時間で二つ、それぞれの達人から明日に生かせる技を学ぶことができた。

### ②2日間の成果を語る

第1回としては多くの成果を上げたが、時間的にもう少し余裕が欲しいという声が聞かれた。以下、参加者の声のいくつかを上げると……。

#### ○宿泊について

- ・宿泊しての研修にふさわしい内容だった。今回の内容であれば、宿泊は当然だったと思います。
- ・夜、造形談議ができたことは最高の意義があったと思います。泊まる意義は24時間フリーにつかえる点で効果的であることが分かりました。

#### ○内容について

- ・ほんとうに楽しかった。各先生の図工に対する熱心さ、また発想の豊かさ、工夫の多さ、素晴らしさ、大変参考になりました。
- ・1回目としてはよく工夫された有意義な内容であると考え。時間配分に余裕がほしい。
- ・お話を聞くだけでなく愛・感・美・遊・創の内容がありよかったと思います。とても有意義でした。
- ・バラエティーに富んだよく考えられたメニューで、大変有意義な時を過ごすことができた。

(札幌造連 研修活動部)